

ま え が き

ここに平成25年度「あきる野統計」を発刊いたします。

本書は、あきる野市の人口、産業、社会福祉、環境衛生、教育等各分野にわたる基礎的な資料を収録し、市の現状と推移を明らかにしたものです。

公的統計は、「社会の情報基盤」として、行政運営や企業の意思決定などに必要不可欠なものとなっており、統計の持つ役割がますます重要となってきました。

本書が、将来都市像である『人と緑の新創造都市』の実現、『東京のふるさと・あきる野』としてのまちづくりを進める基礎資料に、また、関係諸機関の計画立案や研究に、更に市民の皆様の生活の指針としてご活用いただければ幸いです。

また、平成22年度版より、より多くの方に情報を提供するため、市のホームページ上にも公開しております。

編集に当たりましては、可能な限り内容の充実に努めてまいりましたが、今後も、皆様からのご意見をいただき、より一層の改善を図ってまいりたいと考えております。

最後になりますが、本書の刊行に当たり、貴重な資料を提供いただきました関係者の皆様に対し深く感謝申し上げますとともに、今後ともご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年3月

あきる野市長 臼 井 孝

あきる野市の市章、鳥・花・木

(平成8年11月1日制定)

あきる野市章



あきる野市の頭文字「A」と木の葉をモチーフに、人と緑の共生する姿と未来に向けて発展するあきる野を象徴しています。また、色はそれぞれ、青は澄んだ水と空気を、赤は市民の情熱とエネルギーを、緑は豊かな自然を表現しています。

あきる野市の鳥(セキレイ・鶺鴒)



スズメ目セキレイ科に属する小鳥の総称。羽色は黒白・黄色などで、長い尾を上下に振る修正がある。多くは水辺にすみ、セグロセキレイ・ハクセキレイ・イワミセキレイなどがあります。古くは「古事記」や「日本書紀」にも登場し、神話の中で、神様といっしょに活躍したとされています。

あきる野市の花(キク・菊)

キク目キク属の多年草。自生種のハマギク・ノジギクなどの総称を言う場合と、特に、きわめて古くから観賞用につくられた園芸用の総称を言う場合があります。またキクは月日の重陽の節会の花とされ、奈良時代にはこの節会で不老長寿の霊薬として菊酒を飲んだとされています。



あきる野市の木(モクセイ・木犀)



モクセイ科モクセイ属の常緑小高木。キンモクセイ・ウスギモクセイ・ギンモクセイなどの総称です。雌雄異株で秋に開花し、芳香を放ちます。平地性で日当たりを好みます。

あきる野市民憲章

(平成13年5月3日制定)

秋川の清流を抱き、緑あふれる豊かな自然に恵まれた郷土あきる野では、はやくから先人たちが文化の育成や産業の振興につとめてこられました。

わたくしたちは、この良き伝統を引き継ぐとともに、このまちに一層の誇りと責任をもち、活力を創造力に満ちた人間性あふれるまちづくりをめざして、ここに市民憲章を定めます。

- 一 清らかな川 緑豊かな山や丘陵を大切に守り育て
みずみずしいまちをつくります
- 一 一人ひとりを互いに尊重し 社会のきまりを守り
つねに世界に心をひらいて前進する
連帯感あふれる明るいまちをつくります
- 一 子供やお年寄りをいたわり 思いやりのある若い力の育つ
さわやかなまちをつくります
- 一 歴史や伝統を大切にし 地域の個性を活かすとともに
産業のさらなる振興につとめ
たくましいまちをつくります
- 一 スポーツや芸術を愛好し 健康で文化の香り高い
こころ豊かなまちをつくります

絵で見るあきる野市



出生(平成25年)
1日に1.7人



死亡(平成25年)
1日に2.4人



婚姻(平成24年度)
1日に1.0組



離婚(平成24年度)
1日に0.4組



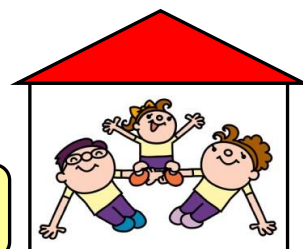
転入(平成25年)
1日に7.8人



転出(平成25年)
1日に7.1人



人口密度(平成26年1月1日)
1Km²あたり1,117人



世帯員(平成26年1月1日)
1世帯当たり2.4人



交通事故(平成24年)
1日に3.6件
(五日市・福生警察署管内)



火災(平成24年)
1日に0.1件



犯罪(平成24年)
1日に7.9件
(五日市・福生警察署管内)



ゴミ(平成24年度)
1日に64.4t



し尿(平成24年度)
1日に19.6kl



自動車保有台数(平成23年度末)
1世帯当たり0.9台



図書館蔵書数(平成24年度末)
市民1人あたり6.4冊